

の手で行った村上玄水は、今回の調査で様々な資料の中から、その実像が明らかにされてきている。

川島整形外科病院

村上華林堂病院

村上記念病院医家資料館

## アルメイダ没後四百年の

### 足跡を訪ねて

東野利夫

本年十月は、ルイス・デ・アルメイダ Luis de Almeida (一五二五—一五八三) が、九州、天草の河内浦(現熊本県天草郡河浦町一町田)で、没して丁度四百年目に当る。

一五五〇年より彼の日本に於けるイエズス会修道士としての活動、および豊後府内における日本で初めての育児院、洋式病院の創設、運営、診療などについては、彼自身、および当時のイエズス会士たちの通信書簡により、大略は先達歴史学者たちの貴重な研鑽報告がなされている。

しかし彼の医療技術のレベルや内容等においては、史料に乏しく未だに定説が明らかでない。

ルイス・デ・アルメイダは、一五四六年三月三十日付、ポルトガル国王ジョアン三世より全領土における外科施療の免許を得ている。

また一五四八年リスボンを出帆し、インドに渡ったのち、一五五五年まではゴア、マラッカを根拠として南方、中国などにおいて、主として貿易商人として活躍し、かなりの富を獲得した。

三十歳（一五五五年）になるや翻然として、全私財を投じ、イエズス会に入信し、医療および布教活動に献身的生涯を日本に於いて送った。

筆者は彼の没後四百年に当り、彼が滞在したマラッカ、およびゴアを訪ね、とくに当時、規模と内容において高度の診療内容を誇ったゴアの王立病院について診療実績を考証し、彼の豊後府内における医療技術のレベルについて推察し、併せて当時乱世に病める日本人に対する彼の医療および布教方法について、若干の私見を得たので報告する。

（開業医）

## 藤野巖九郎の蘭学の系譜

泉 彪之助

魯迅の小説「藤野先生」の主人公で、仙台医学専門学校の解剖学教師であった藤野巖九郎は、その祖父および父が蘭学を学んだことが従来から知られている。ここでは、演者が志している、医史学的観点を含めた魯迅研究の一環として、そのことについて総括的に記載し、その意義について考えてみたい。

### (1) 出身地について

従来、藤野巖九郎の出生地は、福井県坂井郡本荘村下番と記載されてきたが、巖九郎出生時（明治七年）の行政区劃に従って、敦賀県坂井郡下番村（または、敦賀県第十四大区七小区一組）と訂正したい。下番は、興福寺および春日神社の庄園、河口庄の一部で、河口庄は、本庄・新庄など十郷から成り、本庄は、中番、上番、下番に分れていた。番とは、庄園領主に対して夫役をとめる地域単位であつ